



版画フォーラム和紙の里ひがしちちぶ展

6月15日（土）～22日（土）の8日間、道の駅和紙の里ひがしちちぶにて「版画フォーラム2024和紙の里ひがしちちぶ展」が開催されました。版画フォーラム実行委員会が芸術文化と地域の活性化を目的に毎年開催しており、21回目の今年は全国から488点の個性豊かな作品が勢ぞろい。上位に入賞した作品は来年開催されるチェコの展覧会に出品されます。約2,200人が訪れ大盛況となりました。



人権の花運動を実施しました

6月26日（水）、槻川小学校にて「人権の花運動」を実施しました。これは輪番制で各小学校を対象に実施している人権擁護の事業で、槻川小学校では5年ぶりの開催です。子どもたちが協力し合いながら花を植え、生命の尊さを実感する中で協力や感謝を学び、人権尊重の心を育むことを目的としています。

東秩父村人権擁護委員の奈良幸子氏および大野守雄氏のご協力の下、子どもたちはマリーゴールドを植え、人権尊重の心を養うことができたようです。



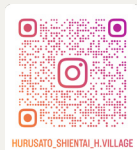
東秩父村の皆さま、はじめまして

私たちは、坂戸市にある城西大学経営学部三國ゼミナールの3年生です。私たちのゼミナールは、今年の5月に「ふるさと支援隊」に選ばれて、学生目線で東秩父村の新しい魅力を発見し、発信する活動を始めることとなりました。

今年度の活動目標は、主に3つあります。1つ目は「東秩父通信」の発行、2つ目は「東秩父魅力再発見動画」の制作、3つ目は和紙の魅力を伝えるイベントの開催です。魅力あふれる東秩父村を学生ならではの方法で精一杯発信していきたいと考えております。

今後、いろいろな場面で皆さまのお力をお借りしたいとお願いに上がることもあると思いますが、その際にはどうぞよろしくお願いいたします。少しでも皆さまのお役に立てるよう、ゼミ生全員で、がんばってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

QRコードを読み込んでいただくと、私たちが東秩父村の魅力を発信していくSNS（Instagram）につながります。フォローしていただけると嬉しいです（そこでコメント等をいただけるのも嬉しいです）。



「ふるさと支援隊」とは・・・

埼玉県が、高齢化や過疎化により農林業や地域活動の維持が困難な状況にある中山間地域の活性化に、大学生の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など活用することを目的に実施する事業。